

第 25 回保全セミナー 開催案内

<日時>2026 年1 月 27 日（火）13 時～17 時（セミナー）、17 時～19 時（意見交換会）

<会場>東京大学 浅野キャンパス 武田先端知ビル・武田ホール／オンライン（Zoom）

<テーマ>原子力発電所の保全技術伝承

～過去の失敗等から学ぶ～

東日本大震災で長期間停止していた原子炉は、現在、PWRが12基、BWRが2基再稼働を果たし、定期検査を行いつつ運転を続けている。14基に続く原子炉の再稼働も準備されているところである。しかしながら長期停止期間中（10年以上）に定期検査がなく、電力の担当者や作業員についても、代替わりをしていて、経験豊かな人が少なくなっており、若手への技術伝承が、メーカ、電力、協力会社とも大きな課題になっている。

そのため、若い技術者に対し、過去の経験（失敗）等から保全技術伝承を行うセミナーを開催し、技術伝承のきっかけとする。

プログラム

開会あいさつ	
13:00～ (1)セミナーの目的について	山下 理道（東京電力）
第一部：過去からの教訓を学ぶ 司会：岡本 孝司（東京大学）	
13:05～ (2) 東京電力原子力部門の企業倫理活動の原点（2002年）	谷口 敦（東京電力）
13:40～ (3) 美浜発電所 3 号機における配管破損事故（2004年）	岡本 庄司（関西電力）
休憩 14:15～14:25	
14:25～ (4) 東日本大震災時の女川原子力発電所（2011年）	佐藤 英介（東北電力）
15:00～ (5) 品質不正事案への対応と QMS 改善活動	宇奈手 一之（三菱重工）
休憩 15:35～15:45	
第二部：再稼働を経験して 司会：谷浦 亘（中国電力）	
15:45～ (6) 再稼働での経験と今後の取組み ～二巡目プラントと運転中プラントへの支援	松永 圭司（東芝）
16:20～ (7) 島根原子力発電所 2 号機 再稼働の瞬間に立ち会って	今野 隆博（日立）
閉会あいさつ	
16:55～ (8) 総括	岡本 孝司（東京大学）
意見交換会（ホワイエ） 17:00～	

<実施形態>ハイブリッド方式：会場あるいはオンラインでの参加

<定員>会場参加 250 名（収容可能）、オンライン参加 100 名

<申込方法等> こちらよりお申込みください。 <https://www.jsm.or.jp/semi/m02/>

* 第25回保全セミナーにつきましては、日本保全学会 HPでもご案内します。

お問い合わせ先：日本保全学会事務局

〒110-0008 東京都台東区池之端 2-7-17 井門池之端ビル 7F Tel：03-5814-5430 Fax：03-5814-6705

E-Mail： seminar25@jsm.or.jp（保全セミナー事務局専用）